

平成 17 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

小山のおうち（代表：高橋幸男）

エスポアール出雲クリニック・認知症老人デイケア「デイハウス・エスポアール小山」

1993（平成 5）年 3 月開設

【授賞理由】

小山のおうちが永年にわたって取り組んできた認知症はだれもがなりうるふつうの病気であるという考え方は人々の認知症に対する理解を深めた。また、認知症の人がもつ能力を最大限に発揮させるその実践的な活動は称讃に値するものである。本賞を授与するとともに、今後ますますの活躍を期待するものである。

【略 歴】

1991 年 4 月 エスポアール出雲クリニック開院

1993 年 3 月 小山のおうち開設

【事業概要】

- ・ BPSD を伴った認知症の高齢者を対象。定員 15 人。ほとんどの方が毎日通所
- ・ 月曜日～土曜日までの週 5 日。午前 8 時 30 分～午後 5 時まで。送迎を行っている
- ・ スタッフ：専任 10 名（看護師 2 名、作業療法士 1 名、介護福祉士 2 名、介護職 5 名）。医師 2 名、臨床心理士 2 名が随時関わります。
- ・ グループワーク（演出性集団精神療法）を 1 日中行っています。

【事業活動・概要】

小山のおうちでは、「認知症の人たちは、周囲が思うよりはるかに自分や周囲のことを理解しているが、コミュニケーションの手段をなくした人たちである」との認識の下に認知症の人たち（以下、メンバー）の想いを引き出し、言葉や行動で表現してもらうグループワークを行っています。

認知症は、恥ずかしい病やなつてはならない病ではなく、長生きすればだれでもなりうるものとして、もの忘れを認め合っています。メンバーによって書かれた手記には、認知症になりゆく不安やつらさや困惑などが見て取れます。

現在、認知症の人たちの思いを正面からとらえようとする流れが始まりつつあると思いますが、小山のおうちでは 10 年以上前から行ってきました。どのようにして BPSD が生じるのか、などメンバーから教えられた“財産”を世間の人たちと共有すべきだと、学会報告、論文、書籍、講演活動や『交流塾』などで、情報発信し続けています。

【褒章等】

2000 年 5 月 日本精神神経学会「精神医療奨励賞」受賞